



小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“ロータリーは機会の扉を開く”

RI会 長：ホルガー・クナーク 氏
(所属：ドイツ、ヘルツォークトウム・
ラウエンブルク・メルンRC)

地区テーマ：“日本のロータリー100 周年

「新しいロータリーは機会の扉を開く」 ”

地区ガバナー：古賀 英次氏(所属：柳川RC)

クラブテーマ：“OPEN THE DOOR TO CHANCE ”

会長 松永 浩 / 幹事 豊川 智彰



表紙写真(テーマ/琵琶湖水面上の噴水)

琵琶湖ホテルの部屋から琵琶湖の噴水ショーを見ることが出来ました。

【撮影：天ヶ瀬 洋正 会員/令和2年7月 滋賀にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30～13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野 2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉 2F

TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

クラブ会報委員会 委員長：宮島 俊司

副委員長：城 健一郎

委員：篠原 烈、橋爪 政博、中村 学、大川 雅弘、甲木 正子

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3447回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “2700 のマーチ”
- ・会員卓話
 ㈱帝国データバンク 北九州支店長
 城 健一郎 氏

第3446回 例会 記録

8月28日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “それでこそロータリー”
- ・IAC 活動報告

会長の時間

松永 浩 会長

本日は『ボランティア』についてお話しさせていただきます。ボランティアは自分から進んで社会活動などに無償で参加する人のことを言います。自主性が必要です。他から強制されたり、義務としてではなく、自分の意思で行います。社会性として誰もがいきいきと豊かに暮らしていけるように、お互いに支え合い、学び合います。又、無償性として報酬や金銭的な見返りを求めてはいけません。ただし、出会いや発見、感動、喜びなど、お金では得られない精神的な報酬を得ることができます。創造性として今、何が必要とされるのかを考え

ながら、よりよい社会を創る活動ができます。ボランティアは継続してこそ意味があります。続けることは非常に難しい現実もありますが、ボランティアを維持するためには、ボランティアを提供する人に余裕がなければなりません。ボランティアすることで得られるものは何より、自分が社会に対して何ができるかを学べる事だと私は思います。その為、ボランティアは、何かをしてあげることではなく、ボランティアは、何かをさせてもらう気持ちが大切です。先日、九州豪雨の中、鹿児島県鹿屋市の市民グループがフェイスブックで協力者を募りボランティア活動で土砂や汚れた家財の搬出作業を行っていました。コロナ禍中、県外からのボランティアが災害地に入らず困っていた時のことです。そのボランティアグループに鹿屋工業高ソフトボール部 18 人が参加して汗と泥にまみれながら、河川の土砂をスコップでかき出していました。ニュースを見て私は感動しました。昨今、学生のボランティア活動は活発で社会に対して何が出来か考え行動する学生が多いと聞きます。今の学生は素晴らしいです。高校生ボランティアで得るものとして社会人の知り合いができ、社会の中で働くことがどういうものか、親とは違った視点の話が聞けることがあります。こうした人との繋がりが高校生活を送る上で役に立つと言われています。小倉 RC では早朝清掃、清掃登山、ギラヴァンツ北九州応援例会で IAC の皆さんと一緒にになります。是非、会員の皆さんは学生の役立ちにご協力ください。

幹事報告

豊川 幹事

・上半期の会費納入の期限が8月末となっています。納入のほどよろしくお願いいたします。
・古賀ガバナーより、7月の熊本豪雨災害に対する支援金の協力依頼がありました。本日、募金箱を回させていただきますのでご協力を宜しくお願いいたします。

出席報告

大曾根 委員長

2020年7月1日：59名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	66名	40名	—	67.80%
先週の出席	65名	28名	30名	87.93%

- ◆ゲスト 1名
・福岡県立小倉工業高等学校
インターアクトクラブ顧問教諭 大澤 晶子 先生
- ◆ビジター 0名
- ◆名誉会員 1名
・鈴木 清 氏

ニコニコ献金

児嶋 副 SAA

5,000円：今年度累計金額 106,000円

辰巳 和正 君

①8月16日の博多ヨットクラブの湾内レースは、ハミングバードVは19チーム中3着、3位の好成績でした。
②安倍総理の私邸に、若松トマトなどの陣中見舞いの品をお送り、おいしく食べてもらいました。

二村 吉則 君

我が家の置き時計は温度湿度を大きく表示し大変重宝しています。レーメント50周年の記念品です。原田鉄司さんに感謝です。

委員会報告

ロータリー情報委員会

加藤(守) 委員長

2019年の規定審議会の結果も含んだ新しいロータリー情報冊子5種類が、ロータリー情報研究会より発刊されました。本日、ご案内を回覧しておりますので、ご購入のうえロータリー活動の一助としてお役立てください。3年毎に改訂されている「ロータリー情報ハンドブック」や、「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」は大変参考になる資料でお勧めです。よろしくお願いいたします。



新会員紹介

こんどう あきら
近藤 晃 氏

推薦者 南浦 忠義 会員
大迫 益男 会員

生年月日

職業 (公財)北九州観光
コンベンション協会
専務理事

職業区分 911 経済団体



今般名誉と伝統のある小倉RCへの入会につきまして、ご承認を頂きありがとうございます。私は生まれも育ちも北九州で、この3月に市を卒業致しました。そして6月より現職に着任しています。わたくしどものコンベンション協会もこのコロナ禍で大きな影響を受けており、これからの展示会、見本市ではオンラインによる商談会の導入や時間制の入場券を採用するといった検討を重ねています。9月18日には久々の展示会として「西日本陶磁器フェスタ」を開催するという最終的な意思決定を致しました。現在協会をあげて準備を行っています。このような折りに小倉RCでの貴重な機会を頂きました。是非しっかりと勉強させて頂きまして実践していきたいと思っております。どうぞ先輩方ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

IAC 活動報告

福岡県立小倉工業高等学校

工業化学科2年 緒方 颯斗 君

(代読 大澤 晶子 先生)

『2019～2020年度 IAC 活動報告』

倉工祭(文化祭)

IACの活動を広める展示やイライラ棒を使つての募金活動を行いました。この募金活動によって6,428円集まり、その募金は台風19号で浸水被害にあった栃木工業高等学校へ寄付しました。



早朝清掃

朝早いのは辛いですが、掃除は「縁の下の力持ち」です。「当たり前綺麗」なのではなく実際は「努力して綺麗」になっているのです。「誰かがする」ではなく「自分がする」という気持ちで参加しています。

例会

毎月第三木曜日にRCの方に来ていただき卓話をしていただいています。普段聞くことのできない内容が多く、初めて知ることがたくさんあります。将来への大きな知識となると思います。

RC・IAC 合同例会

合同で例会をした後に、サッカー観戦をしてロータリーの方と交流をしました。私を含め初めてサッカー観戦をする人も多く、試合そのものだけでなく、会場の雰囲気も味わえて楽しかったです。

ダメ・ゼッタイ街頭キャンペーン

小倉駅周辺で薬物の危険性を知ってもらうために声をかけながらティッシュやうちわを配りました。暑い中、多くの学校や団体の方が参加し、薬物乱用の防止を大勢に呼びかけることができました。

クリーン美化活動

多くの人数で清掃しました。隠れたところにたくさんのごみがあるということを知りました。小倉の街に貢献することができたので良かったです。

道路サポーター

学校周辺の清掃活動を行いました。毎回大きいごみ袋 2 つ分のゴミが集まります。ゴミのある場所がある程度決まっているので、その場所を重点的に清掃します。服や靴も捨てられていて、驚かされます。

小倉城竹あかり

祭りの準備として、竹の灯籠を小倉城周辺に 1 つずつ丁寧に並べていきました。北九州の新しい試みに参加することができて良かったです。たくさんの方に綺麗と思ってもらえたら嬉しいです。



「私が僕が市長になったら」プレゼンテーション大会

小学生から高校生までが市長になったらどんなことをするのかということを発表する大会で、初めてボランティアとして参加しました。会場の飾りつけなどを行いました。それぞれの考える市長の話は、面白かったです。小学生でそんなことを考えているのかと驚くこともありました。

そよ風祭り

ゲームをしたりしてみんなで楽しむ祭りで、カレーをふるまいました。

もちつき大会

地域の方々との交流を深めながら餅をつきました。私たちは、はじめの方はテンポよくつけていましたが、だんだん疲れてきて少しずつ遅くなっていきました。それでも地域の方々と餅をつくのは楽しかったです。

安川みらい館

磁力によってコイルが回転する工作のお手伝いを見学の引率を行いました。私は工業高校生なので物を作るという楽しさを知っています。子供たちが「楽しい」と言ってくれた時はとても嬉しかったです。中でも、苦戦している子が完成した瞬間にパッと嬉しそうな顔をした時は格別でした。



わくわくサイエンスキッズ

年に 2 回児童文化科学館が子供たちに向けて、科学に興味を持ってもらうために行う行事です。その中で、私たちはミニ SL の運行の係をしました。SL に乗ってはしゃぐ子供たちを見守るという、大変楽しい時間を過ごしました。

ふうせんバレーボール

チーム全員が風船に触れなければならないというスポーツで、出場選手の試合や食事の進行のサポートをしました。障害者と共に楽しむ姿勢に感動し、このスポーツを広めていきたいと思いました。

北九州マラソン

ランナーの方の荷物を受け取りトラックに積むことと、ランナー以外の方が走路である道路に入ることないように見回りをするという係でした。今、コロナウイルスが世界的に広がっている状況を思うと、多くの人が楽しめる北九州マラソンを 2 月半ばで実施できたことは本当に幸運なことでした。

最後に

私は中学生の時は、卓球部に所属していました。当時県大会上位入賞という目標のために、学校の先生方や保護者の方々のサポートによって、福岡県さらには県外の中学校との練習試合や高校生との練習など、多くの遠征に行かせていただきました。その結果、団体戦で上位入賞することができました。多くの方のサポートのお陰だと実感しました。だから、私は誰かの役に立てようになりたいと思いました。IAC に所属してから、色々な活動に参加し、多くの体験をさせていただきました。これらの体験によって、人のために自分に何ができるのか、何をすればいいのかということを考えることができるようになりました。これからは自分が考えたボランティアが実現できるように、少しずつ経験を積み、頑張っていこうと思います。



米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

- ・村上 充生 ・伊与田 修
- ・児嶋 昭

合計	2020～21 年度累計金額
30,000 円	81,000 円

次回例会予告

9 月 18 (金) 普通例会

- ・ロータリーソング “我等の生業”
- ・卓話

元地方創生担当大臣 衆議院議員

山本 幸三 氏

『コロナ禍 今こそ地方創生を』